

第4学年 社会科 学習指導案

奈良教育大学附属小学校 教諭 山村 学

1 単元名 林業の盛んな川上村

2 単元の目標

- ・川上村の林業は、自然条件を生かして営まれており、国民の生活に欠かせない木材を作り出す重要な働きを果たしていることを理解することができる。 【知識・理解】
- ・川上村の林業をする人たちの工夫からどのように魅力ある吉野杉を作っているのかを考える。 【思考力・判断力・表現力】
- ・川上村の林業を守るためにはどうすればいいのか考え行動しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】

3 単元について

(1) 児童観

4年生はこれまでに様々なところに校外学習に出かけてきた。2年生では校区にある植村牧場へ行き、乳牛を育てる仕事について学習した。3年生では校区にある豆腐屋に行き、豆腐をつくる仕事について学習した。4年生ではお茶の学習で大和高原に行き、茶づくりについて学習した。どの学習でも大切にしたのは「人」に直接会い、そこで働く人からその仕事の魅力や苦労を学ぶことである。子どもたちは今までは素通りしていた身近な場所にも魅力があることに気づき、学習後にはその場所で商品を購入したという児童もいた。また多くの苦労があつて魅力的なモノが出来ていることを知り、大切にしたいという思いを持つこともできた。

今までは自分の身近な地域である奈良県北部での学習が主であり、同じ奈良県でも南部について知っている児童は少なかった。県南部には行ったことがないという児童も多くなるのが現状である。

(2) 教材について

日本は古来より木を身近な資源として利用してきた。建物の建築材をはじめ、桶や樽、割り箸に至るまで様々なものに木材が利用されている。その木材の生産をしているのが林業関係者である。奈良県南部の川上村も林業が盛んな地域であり、ここでは杉やヒノキが育てられている。特にこの地域でとれる杉は吉野杉として全国的にも有名である。昔の人々の努力と工夫によって広く利用されるようになった。そんな魅力ある吉野杉を育てている川上村の林業も多くの課題に直面している。川上村の人口が減っていることと比例して林業従事者も減少している。近年木材が利用されなくなってきた影響から杉の需要が減少し、売値が下がっている。山林所有者の多くが県外に移住している。このような課題も

抱えているが、今の人々が新しく木を植えなければ、将来木の需要が高まったとしても、川上村の林業はなくなってしまう。

(3) 指導について

本単元では子どもたちに、自分たちの生活を支える木材のこと、川上村の自然環境、川上村の林業関係者のこと、次世代の人のことを考え行動できるようになることを目指す。身近な木でできたものの存在に気づき、その木がどこで作られているのか。川上村の林業を支える自然環境はどんな環境なのか。川上村の林業関係者がどんな願いを持って生産し、どんな課題を抱えているのか。について学ぶ。その上で昔の人々が努力と工夫を重ねてきた川上村の林業がこのままでは無くなってしまうかもしれないことについて理解し、これから先も存続していくためにはどうすれば良いのかを考えさせたい。

(4) ESD との関連

- ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）
 - 有限性：森林資源は有限である。
 - 公平性：将来の世代にも森林資源を活用できるように行動する。
- ・本学習で育てたい ESD の資質・能力
 - クリティカル・シンキング
 - 身近な木材も林業に携わる人がいなくなれば手に入れることができなくなってしまうことから、持続可能な林業について考えさせる。
- ・本学習で変容を促す ESD の価値観
 - 世代間の公正：次の世代の人も森林資源を活用できるように林業について考える。
- ・達成が期待される SDG s
 - 目標 12
 - 生産と消費 持続可能な森林資源の生産体制を確保する。

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①吉野山地の地形や気候などの自然環境について理解している。 ②川上村の主な産業である林業やそこで育てられている吉野杉の特徴について理解している。	①吉野杉の魅力について、吉野杉の特徴を踏まえて考えている。 ②川上村の林業の課題を捉え、持続可能性について考え、表現している。	①木材をよく見て、木の特徴を詳しくみつけようとしている。

4 単元の指導計画（全18時間）

次	○主な学習活動 ・児童の発言	○学習への支援 ・留意点	評価
1	<p>○身近な木の製品がどこで作られているのか考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どれが奈良県産の木かな？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これはどこで作ってるのかな ・奈良って木の産地なのかな 	<p>○準備：吉野杉の木材と他地域の木材</p>	<p>ウ - ① 【発言】</p>
2	<p>○吉野山地にある川上村について 場所、人口、主な産業</p> <p>○吉野山地の地形と気候 入り組んだ谷間とそこを流れる大きな川 県北部より涼しく、雨が多い ・雨は多いけど、急斜面が多いからここでは田んぼは作りにくそうだね。</p> <p>○吉野杉の特徴と育てる仕事 吉野杉の特徴 ・幹が下から上までまっすぐで太さが均一なんだね。 ・年輪がまん丸で節が少ないね。 ・中心がピンク色で良い香りがするね。 ・他の地域でも密植をやっているの？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どうやって吉野杉を育てるの？</p> </div> <p>苗づくりから伐採まで ・100年を超える木もあるの！？ ・そんなに長い年月がかかっているんだなあ。 枝打ち ・危なそうだけど大事なことなんだね。</p>	<p>・1人あたりの面積を奈良市と比べる</p> <p>○準備：吉野の立体地図模型 ・視覚的に大きな川が山を沿うように流れていることに注目させる</p> <p>○本物の丸太を用意する ○同じ大きさの吉野杉の枝と他の木の枝を用意し、持ってみて重さを比較させる→吉野杉は芯が詰まっっていて重いことに気付かせる。 ・だいたいの流れを掴ませ、</p> <p>今の世代が植え、次の世代が伐採することに注目させる。</p> <p>○枝打ちをした木材としなかった木材の断面を比べさせる。</p>	<p>ア - ① 【ノート】</p> <p>ア - ② 【発言・ノート】</p>

	<p>密植と間伐</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密植すると年輪が細かくて丈夫になるんだね。 ・密植するとまっすぐ育つんだね。 <p>運搬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんなに大きな木を切った後、どうやって運ぶのかな？ ・運びやすいように枝を切るんだな。 <p>製材所での加工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の枝や葉が綺麗に落とされて、それぞれ違う製品に加工されるんだ。 ・捨てる部分が無いくらい隅々まで使うんだな。 	<p>○実際に密植された林を見学させる。</p> <p>○昔は川で、今は車やヘリコプターを使って運ぶことを写真や森林組合の方の話から学ぶ。</p>	
3	<p>どうして吉野杉は昔から利用されてきたのだろうか</p>		<p>イ - ① 【ノート】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・昔は木でできたものがいっぱいあったと思う。 ・まっすぐで太さが均一、また丈夫なので建物をつくるときに利用しやすいそう。 ・綺麗な色が入っているので、上品インテリアとして使われているのかな？ ・良い香りがするので、お酒を運ぶ樽として使われてたんだって。 	<p>○準備：吉野杉を利用したものを実物や写真で見せる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉野杉を使いやすいように工夫して育て、ブランド化してきたことに気付かせる 		
4	<p>吉野杉の魅力を発信しよう！</p>		<p>イ - ② 【発言】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・とても良い香りを活かして何か作れないかな。 ・まずは地域の人に吉野杉の魅力を伝えたいな。 ・奈良に来る外国の観光客にも吉野杉の魅力を知ってもらいたい。吉野杉で作った木工作品を配るとか。外国にもブランド力のアップ！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野杉の魅力を思い出し、未来につなげていくことを考えることで川上村の林業を守ることについて考えさせたい。 		